

令和 7 年度第 1 回区政会議 グループ討議
各グループから出た意見と議論について

※発表者の発表内容に加えて、委員の皆様にご記入いただいた「模造紙」や「付箋」の内容につきましても、事務局にて確認できる限りで記載いたしました。
※「グループとしての意見」を発表した順に記載しております。

グループ①（倉方委員、多田委員、岡崎委員、森田委員）

【①「多文化が共生しているまち」のイメージ】

- ・どの国の人も「西淀川区民である」というアイデンティティが共有されている。
- ・大阪・関西万博会場のように、多様さが一つになっている状態。
- ・お互いの能力を活用できている。

【② ①で挙げたまちの実現に向けた、西淀川区における現状の障壁や問題点】

- ・言語の壁。
- ・日本語を全く話せない外国人と日本人をつなぐ人がいない。
- ・コミュニケーションがとれず、外国人に対する偏見（怖いイメージ）を払拭できていない。

【③ ②で挙げた障壁や問題点を解決するために有効な取組】

- ・短期的視点：やさしい日本語×大きなイベント（大野川緑陰道路の活用など）
- ・長期的視点：こども世代の方が日本語の理解が進んでおり、壁が薄い。学校も含めた情報共有・連携。

グループ②（竹内委員、麻井委員、藤江委員、田中委員）

【①「多文化が共生しているまち」のイメージ】

- ・お互いが「普通に」暮らせるまち。
- ・文化の違いを認め合う。お互いに顔なじみになって理解し合い、助け合って楽しく暮らせる

【② ①で挙げたまちの実現に向けた、西淀川区における現状の障壁や問題点】

- ・言語の壁、文化の違い。（食文化など）
- ・外国籍の人と話したり知り合ったりする機会が少ない。

【③ ②で挙げた障壁や問題点を解決するために有効な取組】

- ・交流する機会をつくる（綱引き、あいさつ、一緒にごはんを食べる、）
- ・まずは町会加入してもらう。地域行事に取り組んでもらう。

グループ③（大垣委員、浦中委員、西垣委員、吉見委員）

【①「多文化が共生しているまち」のイメージ】

- ・見た目も文化も多彩。こどもたちが交流している。
- ・外国人が地域のイベントに企画段階から参加し、日本の祭りに限らず何らかのイベントがある。
- ・人への興味を持っている。

【② ①で挙げたまちの実現に向けた、西淀川区における現状の障壁や問題点】

- ・言葉や文字の壁。
- ・ごみの問題、介護の問題も生じる。

【③ ②で挙げた障壁や問題点を解決するために有効な取組】

- ・日本語学校に積極的に声をかける、外国人独自のコミュニティなどにこちらから足を運ぶ。

グループ④（藤浪委員、大西委員、今前田委員、矢口委員）

【①「多文化が共生しているまち」のイメージ】

- ・外国の良いところを吸収できている。昔からの日本のルールも変えられる。
- ・外で集まっていることが多い。街のイベントにも参加してくれている。

【② ①で挙げたまちの実現に向けた、西淀川区における現状の障壁や問題点】

- ・ルールの厳しさ。時間の使い方の違い。
- ・言葉の壁：分からなくても分かったふりをする。

【③ ②で挙げた障壁や問題点を解決するために有効な取組】

- ・外国の方のマナーは良くなってきている。外国人に合わせすぎず、旧来すぎず。（どこまで寄り添うか？）

事務局まとめ

【①「多文化が共生しているまち」のイメージ】

- ・どの国の人も「西淀川区民である」というアイデンティティが共有されている。
- ・見た目や文化の違いについて、誰もがそれを「当たり前」と思って暮らせている。

【② ①で挙げたまちの実現に向けた、西淀川区における現状の障壁や問題点】

- ・障壁や問題：外国人に対する偏見の存在。文化やルールの違いによる問題（例：ごみ出しや介護など）
- ・要因：言語の壁。文化やルールの違い。外国にルーツのある人と話したり知り合ったりする機会が少ない。